

県政日誌

7月 JULY

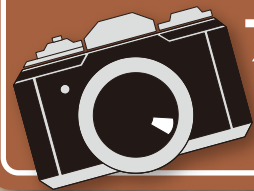
20日	沖縄県立芸術大学佐久本副学長就任 辞令交付式 平成22年度みんなでグッジョブ運動推進大会
21日	全国高校総体代表監督・コーチ激励会 知事上京(～23日)
26日	要請 那覇大綱挽回保存会 真栄田 世行氏 ほか 表敬 映画「やぎの冒険」監督 仲村颯吾氏 ほか 経営改善普及事業に係る県知事表彰授与式 中琉協会総会懇親会
27日	皇太子殿下御来県(～29日)
28日	美ら島沖縄総体2010総合開会式

8月 AUGUST

1日	前原大臣との昼食懇談会 平成22年度「観光の日」県民のつどい
2日	表敬 日中韓次世代リーダーフォーラム 衆議院議員 河野太郎氏 ほか 琉球新報社子ども記者知事インタビュー
3日	第4回沖縄県口蹄疫防疫対策本部会議 沖縄科学技術大学院大学設置促進 県民会議 定期総会 要請 久米島町長 平良朝幸氏 ほか 表敬 山形大学教授 松井良業氏
5日	東京出張(～7日)
11日	表敬 内閣官房副長官 福山哲郎氏、 滝野欣彌氏
12日	表敬 公明党代表 山口那津男氏 ほか
13日	表敬 ラジオ沖縄 代表取締役社長 森田明氏 行政視察



KENSEI FLASH



7月・8月
の動き

県政フラッシュ

7/27

皇太子殿下御来県



「美ら島沖縄総体2010」の運営等に
携わった高校生との御交流

皇太子殿下は、7月27日～29日、平成22年度全国高等学校総体体育大会(美ら島沖縄総体2010)への御臨場、併せて地方事情を御視察のため、御来県された。殿下の御来県は、米州開発銀行(IDB)年次総会開会式への御臨席のため御来県された平成17年以来で5年ぶり。滞在中、国立沖縄戦没者墓苑や特別養護老人ホームなどを御視察された。

28日は、沖縄市の県総合運動公園陸上競技場で総体の総合開会式に御臨席された後、宜野湾市のホテルで美ら島沖縄総体2010高校生一人一役活動実行委員会のメンバーらと御交流され、代表の高校生に温かく声をかけられた。

7/20

今年度運動スローガンは「グッジョブで見つけるあなたの明るい未来」



合言葉は「みんなでグッジョブ!」

「平成22年度みんなでグッジョブ運動推進大会」が浦添市の国立劇場おきなわで行われ、県内の児童・生徒、教育関係者、企業関係者など約600人が出席した。

大会の冒頭で今年度運動スローガン「グッジョブで見つけるあなたの明るい未来」が盛大に発表された後、沖縄県産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)推進本部長を務める仲井眞知事が「沖縄で働きたいという人みんなが働くことができる沖縄県となるようこれからもう一生懸命やっていきたい」とあいさつした。

同大会では立教大学大学院准教授の小島貴子氏による講演が行われたほか、グッジョブ川柳やグッジョブこぼれ話の優秀作品が紹介された。

7/26

表敬 映画「やぎの冒険」 仲村颯吾監督



県庁で行われた仲村監督らとの会談の様子

中学生映画監督の仲村颯吾氏らが県庁を訪れ、仲井眞知事に長編映画「やぎの冒険」の完成を報告した。会談の中で仲村監督は、沖縄の日常の風景を取り込んだ映画になっていることに触れ、「県民みんなが楽しめる作品になったと思うので、多くの人に見てもらいたい」と述べた。これに対し仲井眞知事は「お客さんがたくさん集まるといいですね。私もぜひ見てみたい」と激励した。同映画は仲村監督の初めての長編映画で、9月18日の沖縄コンベンションセンターでの上映を皮切りに、県内各地で上映される予定だ。

中学生映画監督の仲村颯吾氏らが県庁を訪れ、仲井眞知事に長編映画「やぎの冒険」の完成を報告した。

会談の中で仲村監督は、沖縄の日常の風景を取り込んだ映画になっていることに触れ、「県民みんなが楽しめる作品になったと思うので、多くの人に見てもらいたい」と述べた。

これに対し仲井眞知事は「お客さんがたくさん集まるといいですね。私もぜひ見てみたい」と激励した。

同映画は仲村監督の初めての長編映画で、9月18日の沖縄コンベンションセンターでの上映を皮切りに、県内各地で上映される予定だ。

8/3

沖縄科学技術大学院大学 設置促進県民会議 定期総会開催



沖縄科学技術大学院大学
設置促進県民会議の定期総会

県内各界113団体からなる沖縄科学技術大学院大学設置促進県民会議の定期総会が、那覇市内のホテルで開催された。総会では、沖縄科学技術研究基盤整備機構のバックマン理事から、開学に向けたスケジュールや初代学長予定者に世界的な物理学者でスタンフォード大学教授のジョナサン・ドーファン氏の就任が決定されたことなどが報告された。

また、今年度の事業として、大学院大学への関心を高めるための研究者による県民を対象にした講演会の開催などが承認された。

会長を務める仲井眞知事は、「沖縄科学技術大学院大学学閥の制定や初代学長予定者の決定など、開学準備が着々と進んでおり、引き続き会員の皆様のご支援を頂きたい」とあいさつし、世界最高水準の大学院大学の開学に向けて会員への協力を呼びかけた。

CONTENTS

2 県政フラッシュ

特集1

4 公共交通を利用しよう!!
～バスでエコ～

特集2

6 ちゅら島とちゅら海を守るために
～下水道に接続しましょう～

特集3

8 設備・機械類貸与制度

10 比べてわかるみんなのシゴト白書
スポーツのシゴト

12 県のうごき1
めざそう8020!

13 県のうごき2
見えていますか?知っていますか?食品表示

14 情報ひろば お知らせ

16 つながる広がる人・モノ・文化 地域物語
ユナムダクマ協議会

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課
ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄の人口 世帯の動き

平成22年7月1日現在



沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日～20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日～20日開催!



那覇バス・琉球バス交通では、パソコンや携帯電話を使って、バスの位置情報を利用者に提供するバスロケーションシステムの運用を行っています。



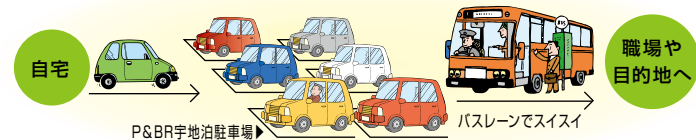
九月二十日は「バスの日」です。沖縄県バス協会では、バスの日にちなんだ取り組みを行っています。今年も、九月十九、二十日の二日間に本島路線バスが利用できる「バスの日記念フリー乗車券」を販売します。

また、日曜・祝日は、中学生以上の大人一人で、小学生以下の子供（二人まで）の運賃が無料となる「日祝ファミリ割引」を実施しています。利用してみたいかがでしょうか。あなたの行動が渋滞緩和に貢献します。

沖縄バスでは、高齢者や障害者の利用促進のため、一部の路線においてワンストップバスを導入しています。

バス事業者の
利用促進への取り組み

パーク&バスライド



「パーク&バスライド」とは、郊外から都心部へ行くとき、自宅から郊外部のバス停まで車で行き、バス停の近くに車を停めてそこから都心部まではバスで向かう、という移動方法です（図）。

南部国道事務所が、国道58号牧港陸橋下（A&W牧港店向かい）に駐車場を用意しています。本島中北部方面から那覇市内まで車通勤されている方、ぜひご利用ください！

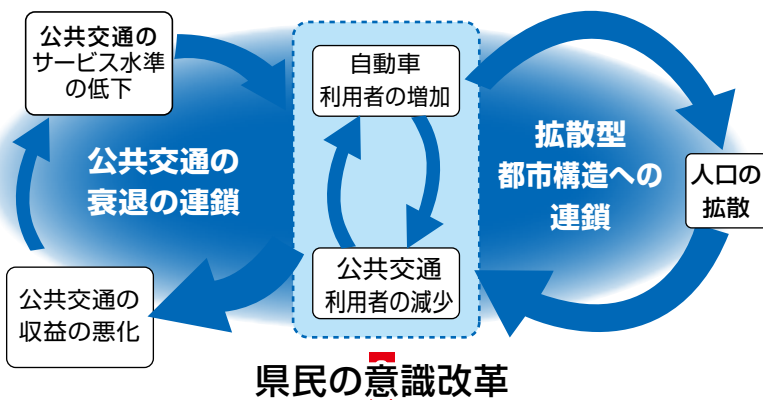
2010なはモビリティウィーク&カーフリーデー

那覇市では、今年も9月16日から22日まで、モビリティウィーク&カーフリーデーが実施されます。モビリティウィーク&カーフリーデーとは一人ひとりが車の使い方を見直し、交通の面から都市の環境問題を考えるきっかけを作り、車中心の都市から、人中心の都市へ、中心市街地に人のにぎわいを取り戻そうという世界共通のイベントです。

公共交通を利用しよう！

公共交通を
利用しよう!!
~バスでエコ~

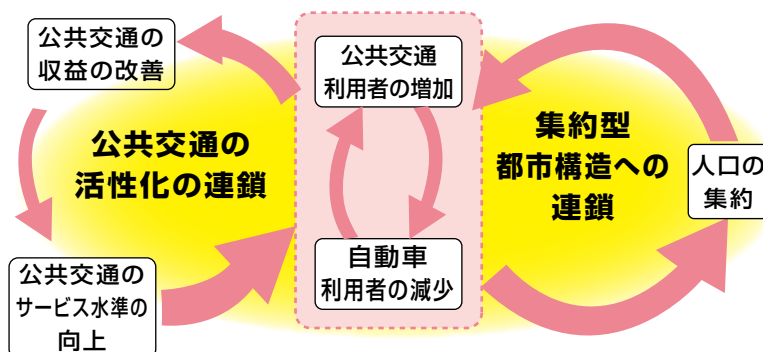
県民の一人ひとりが、自家用自動車からバスへ転換することによりCO₂排出量を削減し、沖縄の豊かな自然を守り『低炭素社会の実現』に寄与します。



公共交通の衰退は、自動車利用者の増大や公共交通のサービス水準の低下など負の連鎖によるところが大きいと考えられます。

今後、公共交通に対する総合施策を推進するとともに、県民一人ひとりが公共交通や環境に対する意識を高めていくことで、自動車からバスなどの公共交通への転換を図り、「正の連鎖」を構築することが不可欠と考えています。

これからは…



「公共交通活性化に関する調査」報告書より

将来の公共交通の
あるべき姿

沖縄県では、「沖縄二十一世紀ビジョン」を踏まえ、沖縄本島内の均衡ある発展のため、軌道系を含む新たな公共交通システムの導入に向けて検討を進めます。

ゆいレールの利用客数

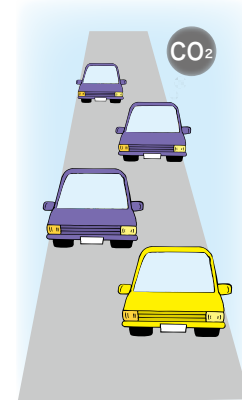
県内唯一の軌道系交通システムであるゆいレールの利用客数が今年の七月十五日に九千万人を突破しました。来年五月には、一億人を突破する見通しです。

公共交通活性化の
必要性

沖縄県は、全国でも極めて高い自動車依存社会が形成されており、交通手段別の分担率では路線バスの割合はわずか三％となっています。バス利用者は、二十年前の約四割に落ち込んでいて、このまま車社会が進んでいくと、バス路線の維持がより困難になっていきます。

県民の中には、「バスは必要ない」「自動車で十分!」との意見もありますが、高齢者の移動しやすい環境づくり、環境負荷の軽減、県民の健康増進、渋滞緩和などから、バスの活性化は必要であると考えています。また、車社会化による渋滞により、バスの定時性悪化が、ますますバス離れを招くという悪循環に陥っています。公共施設や大規模商業施設などが郊外へ展開し、中心市街地ではシャッター通りが増えるという問題も起きています。

バスの活性化は、高齢者の安全安心、環境問題、健康増進、渋滞緩和に加えて、まちづくりの視点からも取り組んでいく課題です。



活性化のための
四つのキーワード

【安心安全】
高齢者ドライバーによる事故が増えています。高齢者がバスやモノレールを利用し、移動しやすい環境を整備する必要があります。

【健康増進】
家庭から排出される温室効果ガスの三分の一以上が自動車利用に起因しています。一時間自動車を使うだけで、一人の二酸化炭素排出量は二倍以上になるという試算もあります。自動車の使用を控えることが県民一人ひとりができる行動の中で最も効果的です。

【健康増進】
健康のためにも、自動車利用を控え、バスやモノレールといった公共交通を利用し、バス停や駅まで歩くように心がけましょう。

【渋滞緩和】
自動車で通勤している約九十％の方々が一人乗りです。これを、バス利用に変えると、必要な道路面積が十分の一から十五分の一ですみます。バスやモノレールを利用することで、渋滞の緩和にもつながります。

お問い合わせ 県交通政策課 TEL:098-866-2045 FAX:098-866-2448

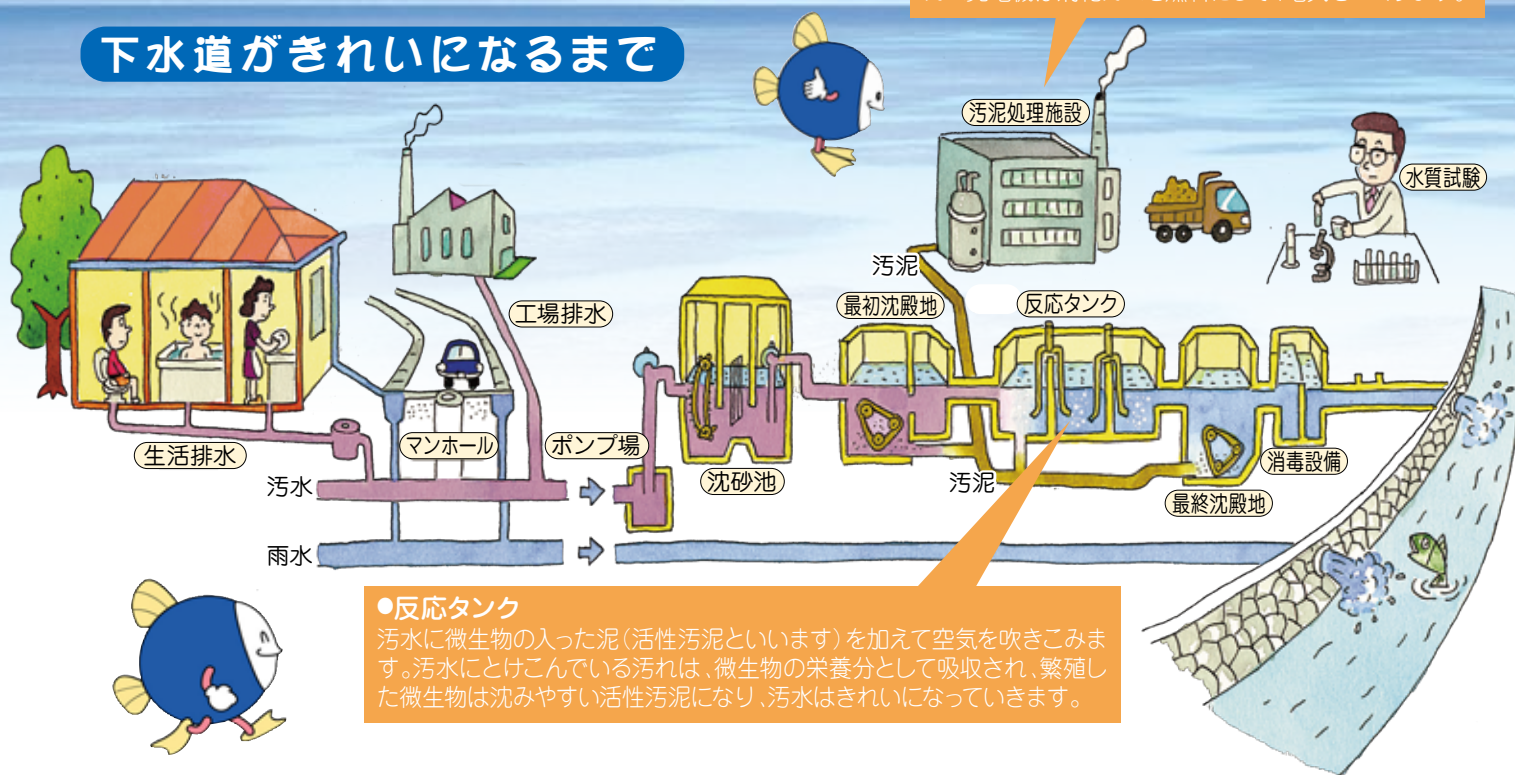


沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日~20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日~20日開催!

下水道がきれいになるまで



施設見学のご案内



施設見学の様子

各浄化センターでは、下水道施設の見学ができます。見学を希望される方は、各浄化センターへ直接お問い合わせください。見学時間は祝祭日を除く月～金曜日の9:00～16:30となります。詳しくは、県下水道管理事務所のホームページをご覧ください。

問い合わせ先

- みずクリン那覇(那覇浄化センター)
TEL 098-868-3310
- みずクリン宜野湾(宜野湾浄化センター)
TEL 098-899-2801
- みずクリン具志川(具志川浄化センター)
TEL 098-938-8630
- みずクリン西原(西原浄化センター)
TEL 098-871-9807



下水道週間 ～ 下水道 水から聞こえる「ありがとう」～

県では、9月10日「下水道の日」を含めた1週間を下水道週間として、式典やパネル展を開催しています。今年も下水道への関心と理解を深め、協力を得ることを目的に下記の通り実施します。お気軽にお立ち寄りください。

日時:平成22年9月6日(月)

場所:県民広場(県庁前)

内容

15:00～ 花の苗や下水道関連グッズの配布

16:00～ アトラクション(琉神マブヤーショー)

16:15～ 下水道の式典



※写真は平成21年度のものです。

お問い合わせ

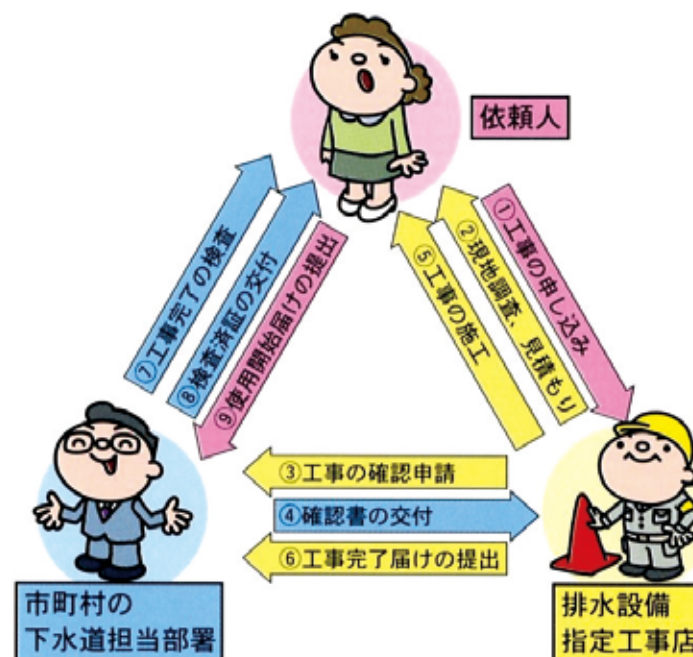
●県下水道課

TEL:098-866-2248

FAX:098-866-2394

ちゅら島とちゅら海を守るために
～下水道に接続しましょう～

私たちが豊かな生活を維持していくためには、自然環境との調和を図る必要があります。そのためにも生活排水などの汚水を運搬、排水、処理するシステムが必要です。下水道はその役割を担っています。



公共下水道が完成して供用開始が公示されると、各ご家庭と公共下水道につなぐ排水設備工事を速やかに行っていただくこととなります。特に、汲み取り便所は公示後三年以内に水洗トイレに改造することが下水道法で義務づけられています。また、浄化槽を利用されているご家庭でも、公共下水道につなぐための工事を行わなければなりません。

下水道に接続しよう

平成21年度市町村別接続率ランキング 平成22年3月末時点

順位	市町村名	接続率	順位	市町村名	接続率
1	竹富町	100.0%	13	本部町	77.8%
1	渡嘉敷村	100.0%	14	南風原町	77.6%
3	那覇市	99.5%	15	うるま市	74.8%
4	北谷町	97.1%	16	読谷村	65.6%
5	嘉手納町	96.9%	17	与那原町	58.2%
6	宜野湾市	96.6%	18	久米島町	58.1%
6	浦添市	96.2%	19	宮古島市	56.9%
8	名護市	95.5%	20	南城市	51.0%
9	座間味村	87.9%	21	石垣市	47.7%
10	糸満市	82.5%	22	西原町	42.9%
10	豊見城市	82.5%	23	北中城村	38.4%
12	沖縄市	81.4%	24	中城村	27.0%

平成22年3月末 県内平均 88.2%

※接続率とは、各市町村の下水道利用可能人数に対する、実際に下水道に接続している人数の割合を示します。

現在、県内の下水道接続率は、約八十八%。下水道は、一人ひとりが接続して初めて役割を果たします。豊かな生活を維持していくためにも、下水道に接続しましょう。

水洗便所改造資金については、下水道事業を実施している各市町村にて資金の貸付、融資の斡旋などの制度がありますので、詳しくはお住まいの市町村下水道担当課までお問い合わせください。

支援の内容

	機械類貸与制度			設備貸与制度		
	割賦販売		リース	割賦販売		リース
対象者	原則創業 1 年以上の中小企業者 (製造業、建設業、鉱業、運輸通信業、 卸売・小売業、飲食店、サービス業、事業協同組合)			従業員数20人以下の小規模企業者等 (商業、サービス業は5人以下) (創業者、特別な場合は従業員数50人以下の企業者を含む)		
対象設備	①設備の近代化を図るための設備			①創業又は経営基盤強化に必要な設備またはプログラム		
	②新鋭設備（一部の中古設備も対象）					
	②原則として県内に設置する設備					
	③原則として、当該年度内に設置完了する設備					
対象外設備	すでに導入されている設備等、土地・建物・物品賃貸業の賃貸物品、申込者以外が使用する設備					
融資額	100万～3,000万円（創業 1 年未満） 100万円～6,000万円（創業 1 年以上、特別な場合 1 億円まで）			50万～3,000万円（創業 1 年未満） 100万円～6,000万円（創業 1 年以上）		
利率等	年2.5%	リース期間	月額リース料率	左に同じ		
期 間 償還方法		3年	2.986%			
		4年	2.292%			
		5年	1.866%			
		6年	1.589%			
		7年	1.388%			
	連帯保証人	個人企業 法人企業	原則として 1 名以上（有資産者） 原則として代表者とそれ以外に 1 名以上（有資産者）			
保証金	割賦販売 リース	5%の額を契約時に納入（最終償還およびその前の償還に充当） なし				

設備・機械類
貸与制度

設備投資なら長期・低利の
公的制度を活用しよう!

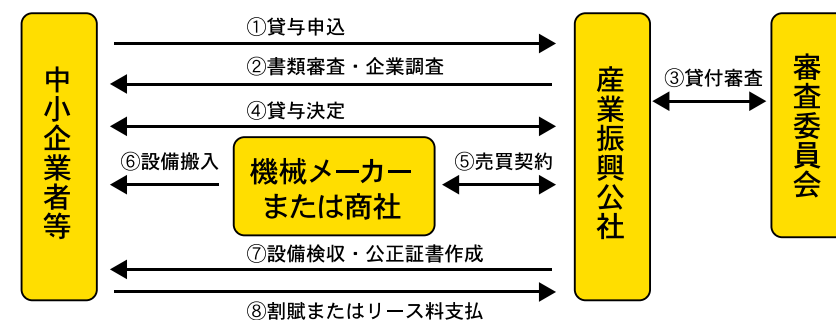
制度の概要

設備・機械類貸与制度は、県内中小企業者の事業に必要な機械設備を沖縄県産業振興公社が購入し、企業者に有利な条件で割賦販売やリースを行う制度です。沖縄県は、事業を行うために必要となる費用を公社に貸し付け、公社は中小企業者の相談や申し込みに応じて必要な機械設備を購入し、中小企業者はその機械設備を長期・低利の有利な条件で活用することが出来ます。

制度のメリット

- ①原則無担保です(審査条件により担保が必要な場合があります)。
- ②長期・低利の制度であるため、安定した設備投資計画が立てられます。
- ③信用保証協会の保証枠や金融機関の借入枠に影響を与えないため、運転資金やその他の資金調達に余力を残すことが出来ます。

貸与制度の流れ



※申し込みから決定までには、概ね2週間～1カ月程度を要します。

- ④固定金利で、信用保証協会の保証料も必要ありません。
- ⑤割賦販売の元金支払は年間据置(その間は利息分のみの支払い)です。
- ⑥最大六千万円(特別な場合は一億円)まで支援が可能です。
- ⑦公社が主体となるため、設備投資後も公社の各種サポートが受けられます。

利用者の声

有限会社海邦ベンダー工業

沖縄の産業まつり 最優秀賞受賞

制度を利用した効果等

平成十六年度に導入したレーザー加工機は、平成八年に導入した設備に比べ加工スピードが五分の一に短縮され、より精密な加工が可能となっております。この機械の性能を生かし、**公社の斡旋**で月間一千万円程度の新たな仕事も受注できるなど、平成十七年九期の売上は、六億七千六百五十万円(対前年比五千万円増加)へと向上しました。鋼材などの原料費が高騰していますが、生産性が向上したこと、ロスが少ないことから、その影響を最小限に食い止めることができております。

また、当社では新たな取り組みとして、**飲食部門**を二カ年ほど前から立ち上げております。沖縄の伝統的な民家をイメージした店舗が県内にはないことに目を付け、貸与制度を活用し那覇新都心にオープンさせたところ、おかげさまで現在では順調にいったいております。公社とは十数年を超す取引引きとなっておりませんが、その間、設備貸与制度のほか、**下請自立化塾**、不動産物件の紹介などさまざまな支援をしてもらいました。

株式会社お菓子のポルシェ

沖縄県ビジネスオンライン賞「製造部門」受賞

銀行等の融資やリース会社と比較して、本制度をどのように評価していますか？

製造設備については、ほとんど本制度を利用しております。民間金融機関では、事業計画の評価より、担保価値評価に大きく左右されると感じます。特にデフレ不況下では、新たな設備投資については、とても慎重になっているように思われました。

平成十三年「御菓子御殿 恩納店」開業の際には、工場・店舗・事務所までを含めた二階建ての大きな建物を計画していたため、資金調達は厳しいものがありませんでしたが、製造設備については公社において**事業計画を評価**していただき、本制度を活用することができました。また、平成十七年には「御菓子御殿 読谷本店」を開業することができ、事業のさらなる発展に努めているところでございますが、その際も、製造設備のほとんどを本制度の活用により、導入させていただくことができました。そのほかにもさまざまな制度の紹介を受け、商品パッケージプロデュースのため**専門家派遣事業**を活用させていただきました。単に設備投資の支援だけでなく、**各方面からの支援**を活用できることは、企業にとって大きなメリットであると感じております。

まずはご相談を!

ご相談の際には、①最近3カ年の決算書 ②申込設備の見積書 ③カタログを公社までご持参ください。

お問い合わせ

●(財)沖縄県産業振興公社 TEL.098-859-6236 FAX.098-859-6233
●県経営金融課 TEL.098-866-2343 FAX.098-861-4661

あなたの意欲をサポートします！

後期技能検定の申込受付 はじまります！

技能検定とは、働く人々の技能を一定の基準によって検定し、国としてこれを証明する国家検定制度です。働く人々の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的としています。

技能検定の合格者には「技能士」の称号が与えられ、確かな技能の証として各職場で高く評価されています。

- ◆受検申請受付 9月27日(月)～10月8日(金)
- ◆実施期間 11月29日(月)～2月20日(日)
- ◆合格発表 3月15日(火)
- ◇問合せ先 沖縄県職業能力開発協会
- ☎098-862-4278

「マッチング促進事業」の ご案内

県では「みんなでグッジョブ運動」の一環として、県の重点産業である観光・リゾート産業および情報通信関連産業における求人と求職者のミスマッチを解消し、雇用情勢の改善を図るため、求職者等向けに下記のような取り組みを行っています。

- ◆フォーラム(全5回開催 9月7日～)
- ◆合同企業説明会(全5回開催 9月24日～)
- ◆面接会も同時開催
- ◆無料個別就職相談
- ◆学生向け周知セミナー・関係者意見交換会
- ◇問合せ先 (財)雇用開発推進機構
- ☎098-859-6140
- (URL) http://www.empact.or.jp/empact_home.nsf

「県内・県外就職面接会」を 開催します

県では、新規高等学校卒業予定者の就職機会の確保を図ることを目的に、県内・県外企業の採用担当者をして、下記のとおり就職面接会を開催します。詳細は沖縄労働局および雇用労政課ホームページでご確認ください。

- ◆開催日時および場所
- ＜県内企業＞
- 10月5日(火)午後0時45分～午後4時30分
沖縄コンベンションセンター展示場
- ＜県外企業＞
- 10月27日(水)午後0時45分～午後4時30分
沖縄コンベンションセンター展示場
- 10月28日(木)午後0時30分～午後3時30分
ホテルアトールエメラルド宮古島
- 10月29日(金)午後0時30分～午後3時30分
ホテル日航八重山
- ◇問合せ先 沖縄労働局 職業安定課
- ☎098-868-1655

一日の タイムスケジュール (シーズン中)

9:00 出勤、飲み物や用具の準備
10:00～11:00 選手練習
モップかけ・後片付けなど
11:30～15:00
一旦帰宅(食事・休養・着替え)
16:00 試合会場へ出勤
飲み物、処置グッズの準備
選手のテーピングなど
19:00～21:00 試合
22:00 後片付け後、帰宅

選手の体調管理からテーピングやマッサージ、ケガの応急処置や予防、リハビリなどを担当しています。汗ですべてケガをしないよう、モップがけも大事な仕事。今でも専門誌や年一回のアメリカでの会議などで勉強を継続し、選手のいい状態、いい環境を作るために努力しています。今後はこの職業を沖縄で広く認知させ、身近なものにしていきたいです。

仕事のツボ アドバイス

アスレチックトレーナーの国家資格(ATC)は、米大学の専門学科卒が受験条件。留学は語学修得の準備期間も必要で苦労しましたが、学んだことすべてが現場で役立っています。若いうちから語学をしっかり勉強して可能性を広げよう！



一日の タイムスケジュール

8:30 出勤、プール清掃
10:00～ 午前のクラス指導
13:00～14:00
昼食・休憩
14:30～20:00
午後のクラス指導
清掃・後片付けなど
21:00 退社

教え方を変えるなど工夫しています。テレビアニメで子供の関心を探ったり、保育雑誌を読むことも。一カ月前まで泳げなかった子が泳げるようになるのは大きな喜びで、懸命な姿勢に学ぶことも多いです。今は、まだ自分のことで精一杯。今後は後輩の見守りや指導を心がけ、いつか子供たちを全国大会へ派遣することが夢です。

仕事のツボ アドバイス

民間資格はありますが取得は義務ではなく、救急蘇生法などの定期講習受講は必須。一日の大半が水中なので、日常生活では冷え防止に注意しています。どの仕事も、極めれば自分にしかできない素晴らしいものになるはず。がんばって！



アスレチック トレーナー



琉球ゴールデンキングス
アスレチックトレーナー
城間遼子さん(勤続3年目・27歳)

本 場アメリカで学んだ
専門知識を生かして

学生時代、バスケットの練習中にケガをして整体トレーナーの治療を受けたのをきっかけに、選手のケアをする仕事に興味を持ちました。その後、マネージャーへ転向。選手をサポートする中でアスレチックトレーナーの存在を知り、本場で学ぼうと

アメリカの大学へ進学。専門の学科で生理学や解剖学を学び、在学中に大学のスポーツチームやトップアスリートのトレーニングを経験。アメリカで国家資格取得後、自分から働きかけて琉球ゴールデンキングスと契約できました。

ス ポーツに必須の専門職
として認知を広げたい！

スイミング インストラクター



JSS浦添スイミングスクール
インストラクター
東江由香さん(勤続6年目・29歳)

長 い選手生活を経て
念願の指導者へ

三歳から水泳を始め、五歳で現在の職場であるスイミングスクールへ入校。選手養成コースで練習に励み、二十三歳には国体出場も果たしたので、選手の気持ちや苦勞はよくわかります。デスクワークも経験しましたが、陸上より水中の方が合っている

とインストラクターを選択。現在はベビーや幼児、小中学生から選手養成コース、一般まで幅広く受け持っています。

教 えることで自分にも
学びや成長がある！

みんなのバリエーション

アスレチックトレーナーとスイミングインストラクター
◎今回はスポーツの分野で働く二人。コートと水中で活躍の舞台は違いますが、選手や生徒をサポートする点は同じです。

その他の「スポーツのシゴト」
・メーカー
・スポーツメディア
・チーム運営

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある！就活世代に役立つヒントがいっぱいあります。

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

☎098-941-8200

◆バックヤードツアー

開催日：9月4日(土)

美術館：午前11時～12時

博物館：午後2時～3時

定員：先着各12人(受付午前9時～)

参加費：無料

博物館

◆特別展「海のクロスロード 八重山」

期間：9月24日(金)～11月23日(火)

入場料：一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円

◆文化講座「詩と歌でつづる八重山」

日時：9月25日(土)午後2時～4時

講師：平田太一氏

定員：200人(当日先着)

参加料：無料

美術館

◆美術館コレクション展

ギャラリー1 版画：儀間比呂志展

ギャラリー2 絵画：ガイアへの帰還

ギャラリー3 絵画：沖縄の色彩

期間：9月5日(日)まで

入場料：大人300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円

※70歳以上と県内小中学生は無料

◆県民キューレーター展「ちゅくいむじゅくい」

期間：9月7日(火)～30日(木)

入場料：大人600円、高校生・大学生400円、小・中学生300円

県立埋蔵文化財センター

☆休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

☎098-835-8752

◆移動展「発掘調査速報展2010」

期間：9月4日(土)～19日(日)

場所：今帰仁村歴史文化センター

午前8時30分～午後5時

(入館は午後4時半まで)

2010年9月

情報ひろば

9月 SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月 OCTOBER

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

イベント

仕事と生活の両立促進セミナー

日時 9月7日(火)午後2時半～

場所 浦添市産業振興センター結の街

内容 仕事と生活を両立しやすい職場風土づくりに取り組む企業によるレクチャー

定員 120人(入場無料)

問合せ 県雇用労政課

☎098-866-2366

国連高校生主張コンクール

日時 9月16日(木)午後1時半～

場所 JAおきなわ宜野湾支店会館

ジュビランス4階ホール

題目 「核兵器のない世界に向けて国連がすべきこと」「世界から貧困をなくすために国連がすべきこと」など

問合せ (財)沖縄国際交流・人材育成財団

☎098-942-9215

観光産業フォーラム・合同企業説明会

日程 9月7日(火)観光産業関連フォーラム

9月24日(金)合同企業説明会・面接会

●場所 沖縄市民会館
●問合せ (財)雇用開発推進機構
☎098-859-6140

しまくとぅばの日関連行事

「しまくとぅば語やびら大会」

日時 9月18日(土)午後2時開演

場所 読谷村文化センター鳳ホール

「うちなぐち講座 伝統文化体験成果発表会」

日時 9月18日(土)午後2時開演

場所 パレット市民劇場(那覇市)

問合せ 県文化振興課

☎098-866-2768

試験

平成22年度中卒認定試験

就学義務猶予免除者などの中学校卒業程度認定試験を実施します。

試験日 11月2日(火)

試験場所 県庁13階第3会議室

願書受付 8月20日(金)～9月7日(火)

問合せ 県教育庁義務教育課

☎098-866-2741

公立学校栄養職員選考試験

第1次試験 11月6日(土)

試験会場 県立小緑高等学校

●電話番号
固定電話・携帯電話：#8000
ダイヤル回線：098-888-5230

●問合せ 県医務課
☎098-866-2169

合同就職説明会・面接会

開催日・場所

9月3日(金) 名護市民会館

9月10日(金) TOMITION(豊見城市)

9月17日(金) うるま市健康福祉センター

9月25日(土) 糸満市社会福祉センター

備考 参加費無料。入退場自由。

問合せ マッチポイント(事務局)

☎098-861-2773

自治医科大学医学部説明会

日時 9月25日(土)午後1時半～3時

場所 サザンプラザ海邦(那覇市)

備考 参加費無料。公共交通機関をご利用ください。

問合せ 県医務課

☎098-866-2169

●願書配布 9月13日(月)～10月1日(金)
●願書受付 9月27日(月)～10月1日(金)
●受験資格 栄養士免許状を有する者または平成23年3月31日までに当該免許取得見込みの者
●問合せ 県教育庁義務教育課
☎098-866-2741

実習助手等選考試験

第1次試験 11月6日(土)

試験会場 県立小緑高等学校

願書配布 9月2日(木)～10月1日(金)

願書受付 9月27日(月)～10月1日(金)

受験資格 短期大学卒業(卒業見込み含む)相当以上の学歴を有する者

問合せ 県教育庁県立学校教育課

☎098-866-2715

募集

公衆衛生医師募集

県では、保健所などで勤務する公衆衛生医師を募集します。

募集人員 2人

応募資格 医師免許を有する昭和41年4月2日以降に生まれた者で、募集要領(当課ホームページ掲載)に定める要件を満たす者

問合せ 県福祉保健企画課

☎098-866-2164

看護師募集

県立中部病院では、7対1看護取得を目指して看護師を募集します。

募集人員(予定) 約100人

問合せ 県立中部病院看護部

☎098-973-4111

特別支援学校入試の変更について

県立特別支援学校の幼稚部と高等部の入学者選抜の方法・日程等が変更になります。

(変更内容)

①受験希望者は、志願前に入学希望の学校で教育・進路相談を受けること

②幼稚部の入学者選抜実施日が12月に変更。

③高等部は、今年度より2次募集を実施。

問合せ 県教育庁県立学校教育課

☎098-866-2715

10月1日は国勢調査

10月1日、国勢調査が全国一斉に行われます。調査結果は、福祉、教育、雇用、地域対策など未来のまちづくりの基礎資料となります。調査へのご協力をお願いします。

●対象者 日本に住んでいるすべての人

●方法 国勢調査員が各ご家庭を訪問して調査票を配布します。

問合せ 県統計課

☎098-866-2050

県広報課からのお知らせ



9月 放送予定

4日・5日 下水道で地球にやさしい循環型社会へ

11日・12日 グッジョブで見つけるあなたの明るい未来

18日・19日 公共交通の利用促進について

25日・26日 上半期総集編

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日

ラジオ沖縄 (864kHz) 11:50～11:55

RBCラジオ (738kHz) 11:55～12:00

F.M. 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

ご意見・ご提言 県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。

あて先 県民ご意見箱、知事へのたより

※記入様式等は、ホームページをご覧ください。



「美ら島沖縄総体2010」応援ありがとうございました!

県内各地で熱戦が展開されました「美ら島沖縄総体2010」は8月20日をもって閉幕いたしました。県民の皆様、大会支援や各競技会場での応援および渋滞緩和へのご協力誠にありがとうございました。

なお、競技結果につきましては、下記のホームページで確認できます。

<http://www.ih2010.jp> または [美ら島沖縄総体2010](#) [検索](#)

若者が働ける場のある
集落にしたい！

集落のお年寄りパワーを
もっと生かしたい！

字史の取材で与那の
素晴らしさを再発見

昔ながらの顔なじみで
仲良く活動中！

左から、大城靖さん、津波敏久さん、大城樹さん、大城加代子さん



子どもたちと一緒に集落を散策



人々の生活に役立った
湧き水「アナガー」



端材に屋号を刻んだ表札作り



与那区民のみなさんから提供された古い写真

世代を超えてみんなで掘り起こそう、伝えよう！
ユナムンダクマの郷の歴史と魅力。

ユナムンダクマ協議会（国頭村）

地域物語

つながる広がる
人・モノ・文化

三区の合同調査で
地域の資源を再発見

沖縄本島最北端に位置し、二十の
集落がある国頭村。

「自分の住む足元を見つめ直して
宝物を探そう」という国頭村の人材
育成講座を活用し、与那・浜・比地の三
区の歴史や文化を掘り起こしてそれ
ぞれガイドブックにまとめました」と
話すのは、国頭村企画商工観光課係長
の大城靖さん。平成十九年度に、区長
を中心とした区民や村内のNPO、講
座参加者など、約二十人で三区を合同
調査。同じ国頭でもそれぞれ特徴が
あっておもしろく、魅力の再発見につ
ながった」と予想以上の収穫を喜んで
います。

お年寄りから若者、
子供たちまでみんなで協力

中でも盛り上がりを見せたのが、
三方を緑深い山に囲まれた与那区。
知恵を使って賊を追い払った「ユナ
ムンダクマ（与那の利口者）」の伝説
がある集落です。ガイドブック作り
をきっかけに「ユナムンダクマ協議
会」を立ち上げ、与那の歴史・文化の
掘り起こしや地域づくりに積極的
に取り組んでいます。

年の間に五回も造り変えられた道路
のことを知り、「機械のない時代に先
人たちが苦勞して集落を整備してく
れた」と、祖先への感謝や地元への愛
着が深まった様子。
「お年寄りが水を得た魚のように
昔のことを話すんです。話が盛り上
がり過ぎてまとめるのが大変」とう
れしい悲鳴も。

集落への誇りや愛着が
地域を元気に！

字史には、地元小中高の生徒たちに
寄稿してもらうことも考えています。
「参加することで若者に故郷を誇りに
思ってもらいたい。ツアーガイドの養
成で地元雇用も生み出したい」と意
欲を燃やす大城靖さん。また津波さん
は、「共同売店にお年寄りがゆんたく
したり、農作物や手作りの菓子を販売
する場所を作りたい」と区長らしいア
イディアを構想中です。

「どの地域にも掘り起こせば眠って
いる資源がきつとある。地域を知れば
愛着が湧き、元気になる」。集落への
誇りを胸に、今後の発展に知恵を寄せ
合う与那のみなさんには、ユナムンダ
クマの精神が息づいていました。

お問い合わせ
ユナムンダクマ協議会（事務局）
電話 09097807594（大城）

ガイドブック作りのまとめ役と
なった与那区長の津波敏久さんは、
「文献資料がほとんどなく、集落のお
年寄り一人ひとりに地道に聞き取り
しました。ガイドブックのイラスト
や文章もみんなで手分けして作りま
した」と苦勞した一面も。
またお年寄りからの聞き取りを
きっかけに、六十一年も途絶えてい
たウンジャミ（海神祭）のユートウ
エー（魚捕りの仕草）が復活。文字通
り、地域の財産を掘り起こしました。
二年前からはガイドブックを活用
し、六つのカー（湧き水）や拝所が点
在する集落を散策する二時間のツ
アーを企画。現在、区民が案内ガイド
を務められる体制作りも行っていま
す。また子どもたちにも地域づくりに
関心を持ってもらおうと、子ども
が参加できるイベントも企画。集落
内の表札を地元小学生たちが一つひ
とつ手作りしました。このほか、百年
前に使われていた峠道「高坂」の整備
には中学生が協力しています。

与那の貴重な歴史、
真実をしっかり伝えたい

ガイドブック作りで培ったノウハウ
を生かして、字史の編さんにも取り
組んでいます。二十代の大城樹さん
は、古い写真の提供呼びかけや聞き
取り作業を続けています。過去八十

編集後記

「古代エジプト 神秘のミイラ展」に行ってきました！博物館
は、夏休み期間のせいにかまさかの入場45分待ち。普段行列の
できない沖縄で、入場に時間がかかることにびっくりです。
内容は海外博物館の巡回展だけあって、貴重な展示品ばかり。
しばし悠久の歴史を感じることができました。（momo）

今月号からフッタロゴ（各ページの下にあるロゴ）が
「musix2011」に変わりました。「沖縄国際アジア音楽祭～
musix2011～」は、来年3月18日～20日の日程で開催されま
す。お楽しみに！（ヒョコトコアルキ）

沖縄県広報誌
平成22年9月1日発行第34巻9号通巻420号

美ら島沖縄

●表紙 写真・島袋常貴
●表紙 撮影協力・沖縄星の会

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

